

TEISO TOYOKA NEWS

2015年8月号 VOL.79

企画・発行：(株)テイソートヨカ 四日市技術研究所
掲載している記事の無断使用を禁じます。〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info@teisotoyoka.com

アメンボの敵はアメンボ？

梅雨も明け、連日猛暑が続いております。涼を求めて水辺に行くと、水面をすべる虫の姿が。今月は身近な昆虫「アメンボ」の興味深い生態についてご紹介します。

アメンボはカMEMシ目アメンボ科に属する昆虫です(写真1)。アメンボといえばやはり水面を自由に移動する姿が印象的ですが、それは脚の先端の細かな毛と油により水面の表面張力を増すことによって可能としています。また、アメンボのスリムなボディには翅が折りたたまれているので、実は成虫になれば空も飛ぶことが出来るのです！

ナミアメンボなどは、産卵の時期になると水草などをつたって水の中に卵を産みます。脚の油などのせいで体が浮いてしまうため、さすがに泳ぐことはできないようです。それではなぜ水の中に卵を産むのでしょうか？

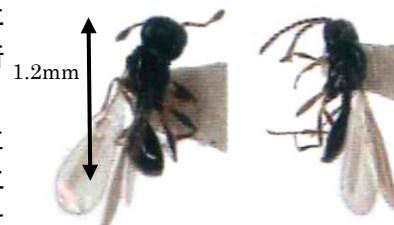
昆虫を始めとする生物には、それぞれに「寄生者」が必ず存在すると言っても過言ではなく、ナミアメンボにも卵に寄生するアメンボタマゴクロバチという寄生蜂が存在します(写真2)。水際の地上に接するような場所に卵を産むと容易に寄生されてしまうため、ナミアメンボは自分たちの卵を水の深い場所に産むことで寄生から逃れようという戦略を確立しました。しかし、寄生蜂も寄生しなくては生きていけないので、簡単には諦めません。寄生蜂も負けじと水中に潜り、卵を狙います。実験では、より深い場所に産卵された卵は、浅い場所のものよりも寄生率が低いという結果がでています。

このように、相手の行動に対抗して自分たちの行動を変えていくような進化は、寄主と寄生者の間に限った話ではありません。男女の間でも激しい競争が起こっていることが分かってきました。オスは子孫を残すためにたくさん交尾をしたい一方で、メスは交尾に要する労力や、卵の成熟に要する期間などの点から、そんなに多く交尾をする必要はありません。ですので、不要な交尾を避けるため、メスは交尾器を隠すシールドを発達させ、オスに簡単に交尾をさせないようにしました。このシールドはメスの意思によって開き、交尾が可能となるのですが、メスをソノ気にさせるため、オスはメスの体や水面を脚でリズムカルに叩く行動をとることが分かっています。この行動は一説によると、故意に水面を波立たせることにより、アメンボを捕食する魚や他の動物へのアピールとなり、「早く交尾をしないと食べられちゃうぞ」とメスを急かしているのではないかと考えられています。実に命がけな戦略です・・・ (K.Y.)

※『日本産幼虫図鑑』(学習研究社出版)より



写真1 研究所付近で捕獲されたナミアメンボ



成虫オス 成虫メス
写真2 アメンボタマゴクロバチ※

今月のオススメ① 扉のスキマを無くして虫の侵入を防ごう

虫の侵入防止のためには、扉を開けっ放しにせずきちんと閉じることがとても大切です。…ですが、きちんと閉じた扉も、虫にはラクラク通過できるスキマが開いているかも！例えば右の写真のように、床と扉の間に大きなスキマが開いているのが分かるかと思います。実際、この写真を撮っていた時にノミバエがこのスキマから扉の向こうへ侵入していきました。

こうしたスキマを失くすため、今月は「パーカットフレックスシステム®」をご紹介します。この商品は、右の写真のようにドアの下部分にブラシを取り付けることにより、スキマを無くして虫の侵入を防ぐことができます。取り付け部分がゴム素材となっているため、容易に曲がり、カッターで切断することもできるので、取り付けの自由度はかなり高く、様々な場所にご利用いただけます。また、本製品はブラシ状であるため扉の開閉の際に「開けにくい・閉めにくい」といった抵抗感はほとんど感じさせません。

★パーカットフレックスシステムは、弊社HPからお問い合わせ下さい★



自然の復元力 Vol. 60

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は日本中の殆どで 35℃以上の猛暑を記録していますね。気象庁の記録では最高気温が 40℃の壁を超えるほどになりました。今後まだまだ猛暑の日が続くようです。この暑さのなか空調機を使用せずに、不幸にも熱中症でお亡くなりになった方がおられ、残念に思います。どうかご自愛いただきますようお願いいたします。

さて、前月号では人が住む極寒の地として「世界で最も寒い村：ロシアのオイミヤコン村」を紹介しましたが、本号では人の住む世界で「一番暑い地」を紹介いたします。その地はアフリカ北東部のアフール三角地帯の“ジブチ共和国”（人口 88 万人）です。この地は年間平均気温 34.5 度を記録し、6 月～9 月の乾季では1日の最高気温が 50℃近くまで上がるという猛暑の地です。海面より標高が低い盆地状の地形のため、熱風が停滞して異常な高気温が記録され、加えて火山地帯なので、活発な火山活動がもたらす地熱が暑さに拍車をかけている土地です。今夏の日本の暑さも、ジブチに比べればまだ涼しいようで、驚きです。ここには元は遊牧民であったイスラム教徒のアフール族（スンニ派）という人々が住んでいます。雨の少ないジブチでは慢性的に水不足となり、都会では朝の 2 時間しか水道から水が出ません。そのため、その 2 時間の間に水道から出る水をドラム缶に溜めて使用しています。ジブチのアッサル湖周辺の放牧民が住む村々では、山から染み出ている水場まで、泥水 10kg/回を 30 分間かけて女性が運んで使っています。アフール三角地帯には塩分の濃度 34.8%（死海よりも塩分濃度が高い）の塩水の湖“アッサル湖”（海面よりも低い湖）があり、湖岸はまるで雪が積もったように白色の析出した塩の平原が広がっています。アフール族は、平原から板状に切り取った岩塩と、波打ち際の塩のかけらが転がって大きくなった塩球をエチオピアまで運んで、生活の糧にしています。

アッサル湖周辺に住んでいるアフール族は、夜中から朝方にかけて仕事をします。昼は避暑のため日陰でジーツとしています。歌いながら岩塩を板状に採掘し、一頭のラクダに塩 120kg を背負わせ、エチオピアにキャラバンを組んで運びます。その間使用する飲料水はヤギの皮袋に入れて携帯しています。ヤギの皮袋に水を入れる理由は、表面から少しずつ水分が蒸発し、その気化熱によって熱が奪われ、炎天下でも水が冷たく保たれるからだそうです。生活の知恵ですね。運んだ塩は小麦粉などと交換し、その小麦粉でナンを作ります。ナンの作り方は、焚き木の周りに置いた石に生地を貼り付け、布をかぶせて蒸し焼きのようにするとのことです。（インターネット情報より）（Sin）

追）昨年国内で感染が認められたデング熱ですが、今年も発生が見られるか心配しております。昨年と同様に国内感染が見られるとしたら、今月下旬以降には患者が確認されると思われますので、今後の動向が注目されます。平常時の媒介蚊対策次第で、デング熱の発生が左右されると思われます。



今月のオススメ② ハチ駆除はお任せください！

季節も夏となり、いよいよ「ハチ」の活動が本格化してきました。

アシナガバチやスズメバチの巣の駆除は、巣の周りに飛ぶハチや、巣から飛び出したハチに刺されてしまうという危険以外にも、高所の作業となったり、天井裏や床下、鬱蒼としたヤブの中での駆除など、作業そのものが困難となったりすることがあります。そのため、駆除の経験の少ない方ではたいへん危険な作業となることも！

弊社では経験豊富なスタッフによるハチ駆除施工サービスをご用意いたしております。

ハチにお困りの際は、安心安全な施工を第一とした弊社に是非ご一報ください！



ハチ駆除のお問い合わせはテイソートヨカ(TEL: 052-891-8311)まで！



Eco Friendly Pest Management
自然にやさしい総合的有害生物管理
株式会社テイソートヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析
有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info-teiso@teisotoyoka.com

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並 2 丁目 334 番地の 2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市中村区千成通 4 丁目 18 番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小熊町島 4 丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町夕 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
富山営業所	〒939-8261	富山県富山市萩原 42 番地 1	TEL 076-481-6474	FAX 076-481-6471
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 2 丁目 1 番 7 号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430